

Q.15

材面割れや背割りは  
接合部の性能に影響を及ぼすの？

A.15

使い方や組合せによっては、影響を受けます。

材面割れも背割れも、部材としての強度にはほとんど影響しませんが、不幸にして接合部の釘やボルトがこの割れや溝に位置してしまったら期待した接合部強度は得られなくなってしまいます。

このような強度低下は、接合部の種類や使う補強金物の種類によっても変わってきますが、割れや溝を避けて、部材の中に接合部を割り当てられることが大切です。材料のどの部分を建物のどの部分に割り当てるかを定める作業（「木取り」といいます）は、実際には大工さんやプレカット技術者など、十分な経験を持つ方々がこの作業を担当しています。最新の正しい情報を元に、今まで通り、しっかりとした仕事を続けていただきたいと思います。

